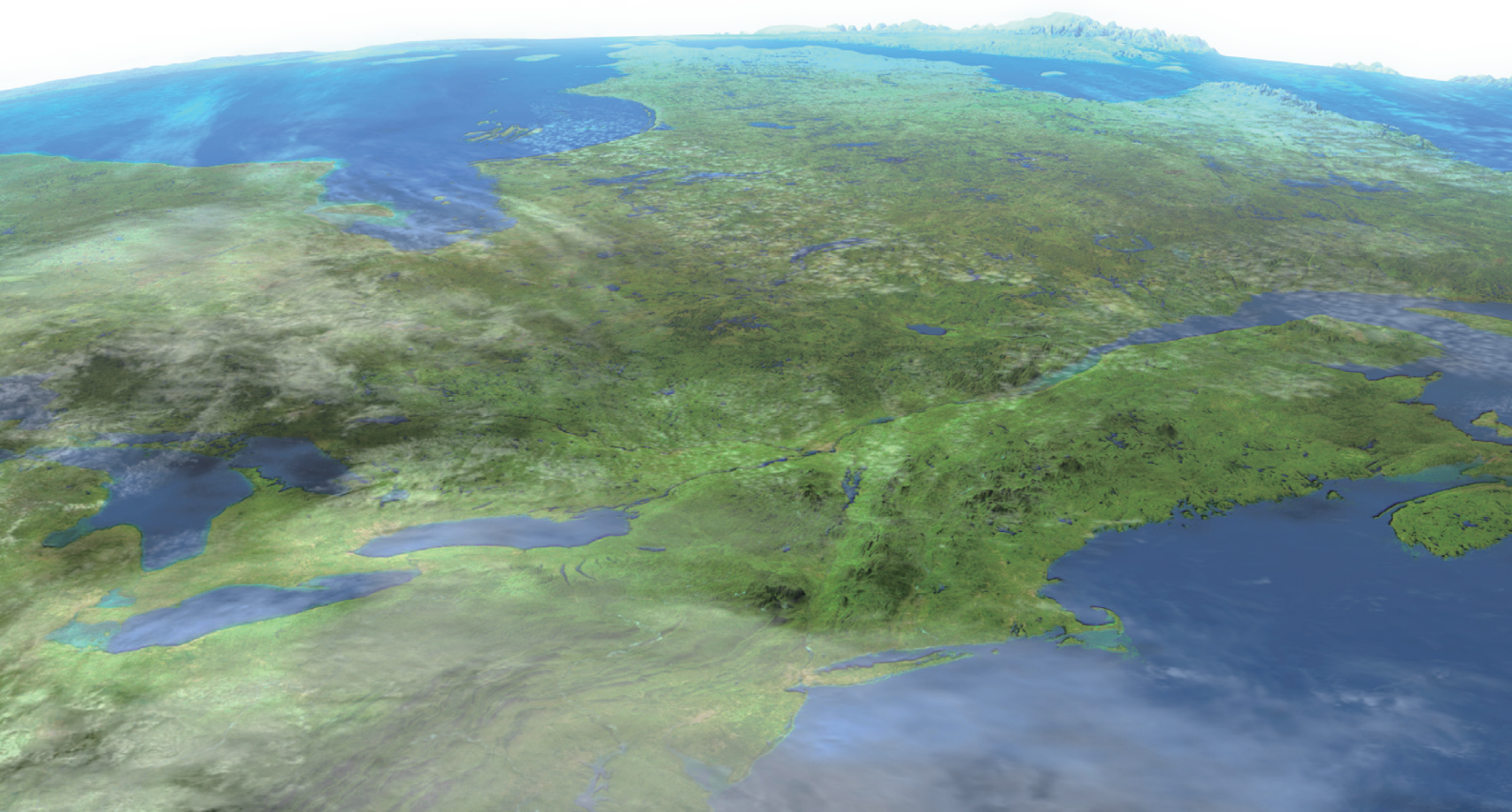


2018 **QUEBEC** CANADA

国際地理 オリンピックに ようこそ!

第12回 科学地理オリンピック日本選手権 および
第15回 国際地理オリンピック日本代表選抜大会



国際地理オリンピック日本委員会公式サイト <http://japan-igeo.com/>

主催：国際地理オリンピック日本委員会

共催：公益社団法人 日本地理学会、公益社団法人 日本地球惑星科学連合、国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)

後援：文部科学省、国土交通省 国土地理院、日本地理教育学会、日本地図学会、一般社団法人 人文地理学会、経済地理学会、東北地理学会、地理科学学会、地域地理学会、一般社団法人 地理情報システム学会、公益社団法人 東京地学協会、一般社団法人 日本地図センター、立命館地理学会、一般財団法人 地図情報センター

協賛：帝国書院、二宮書店、古今書院、東京カートグラフィック、日経ナショナル ジオグラフィック社

国際地理オリンピックは 「地理力」を競う

地理オリンピックの歴史

地理オリンピックのルーツは、1965年、エストニアの大学生が企画した「環バルト海地理競技会」がルーツです。地理学を学ぶ学生が国の垣根を越えて集まり、地理教育の未来を語り合いました。

1994年に行われたIGU（国際地理学連合）の総会（プラハ：チェコ）で、オランダとポーランドの委員が「国際地理オリンピック」を提案しました。それ以降、13回の世界大会と3回の地域大会（アジア・オセアニア地域）が行われました。そして2018年にはケベック（カナダ）で第15回国際地理オリンピック iGeo Quebec 2018 が行われます。

国際地理オリンピック（世界大会）

第1回大会	1996年	ハーグ：オランダ
第2回大会	1998年	リスボン：ポルトガル
第3回大会	2000年	ソウル：韓国
第4回大会	2002年	ダーバン：南アフリカ共和国
第5回大会	2004年	グディニア：ポーランド
第6回大会	2006年	ブリズベン：オーストラリア
第7回大会	2008年	カルタゴ：チュニジア
第8回大会	2010年	タイペイ：台湾
第9回大会	2012年	ケルン：ドイツ
第10回大会	2013年	京都：日本
第11回大会	2014年	クラクフ：ポーランド
第12回大会	2015年	トヴェリ：ロシア
第13回大会	2016年	北京：中国
第14回大会	2017年	ベオグラード：セルビア

地域地理オリンピック（地域大会）

第1回大会	2007年	シンチュー：台湾
第2回大会	2009年	つくば：日本
第3回大会	2011年	メリダ：メキシコ

国際地理オリンピックは 3つの種目で競います。

◆記述式テスト（WRT）

さまざまな地理的な現象や地域の課題についての問いに、地図や写真、統計などの資料を手掛かりに答えます。答えを導き出す過程も採点の対象になります。

◆マルチメディアテスト（MMT）

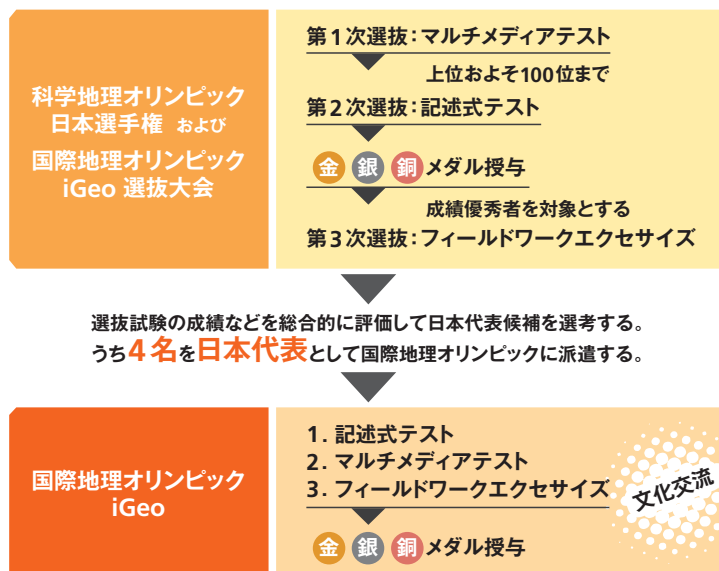
地図、写真、グラフなどを使って、そこで表されている地理的な現象や課題を読み取るテストで、解答は4つの選択肢から選ぶ客観式テストです。

◆フィールドワークエクセサイズ（FWE）

指定された地域のコースを歩きながら観察します。いくつかのチェックポイントをまわり、そこで説明を受けます。競技者は、観察した地理的な現象や地域のようす、観察できる景観についてメモを取りながら歩きます。そして、課題が出されて作業を行います。野外での観察と作業のあと、それらをもとにした問題に答えます。問いかけが求めていることを的確に表すことが求められます。

「地理オリンピック」の共通言語は英語です。国際地理オリンピック（世界大会）ではすべて英語での出題と解答が求められます（辞書の持ち込みは可）。そのため、科学地理オリンピック日本選手権でも全体の2割の問題は英語による出題・解答です。英語による解答は、上手な文章でなくても、論理的に正しく的確に表現することが大切です。非英語圏の国々からも、多くのメダル受賞者が出ています。

「地理オリンピック」の世界大会や地域大会では、さまざまな国の学生や先生と交流することも目的とするところですが、世界には、「地理」を理科の科目のひとつとして学んでいる国もあれば、地理と歴史が補完的な関係を持ち同じ先生が地理と歴史を教える国もあります。さまざまな国・地域から集う学生や先生と交流し、お互いの国の文化、教育などについてさまざまな相違点を共有し合うことは地理オリンピックの大切な役割です。



◆ 募集要項

参加資格

2017年4月以降、大学およびそれに相当する教育機関で教育を受けていない19歳未満の者。ただし、世界大会の出場選手（4名）は、2018年6月末の時点で16歳～19歳の者から選出されます。

※高校・高専3年生および中等教育学校6年生は、本大会には参加できませんが、世界大会の選抜対象にはなりません。

選抜について

■第1次選抜 2017年12月16日(土)

会場：札幌、函館、秋田、盛岡、山形、仙台、郡山、土浦、前橋、東京、新潟、上越、金沢、高岡、福井、静岡、豊橋、名古屋、京都、福知山、大阪、加古川、浜田、岡山、広島、高知、福岡、久留米、長崎、大分、宮崎、鹿児島、那覇の33会場を予定。

なお、応募状況などにより、会場を変更することがあります。最新の情報を、国際地理オリンピック日本委員会のホームページ (<http://japan-igeo.com/>) で確認してください。また、担当の先生が責任を持って試験会場を提供し、試験を実施していただける場合は、特例的に試験会場を設置することができます。ご希望がある場合には、科学オリンピック共通事務局 (TEL: 042-646-6220、E-mail: info@contest-kyotsu.com) にご連絡ください。検討の上、主催者が決定します。

内容：マルチメディアテスト

〈スライドで提示する地図・図表・写真などをつかった問題に答える客観式テスト〉問題の約2割は英語による出題で辞書の持ち込みは紙媒体のみ可能。解答時間は60分。

選考：テストの成績上位約100名が第2次選抜に進むことができます。

テストの結果は、後日、個人宛てに郵送します。

■第2次選抜 2018年2月18日(日)

会場：東京、大阪などを予定。※前回大会では全国10カ所で実施。

第2次選抜受験者の居住地を考慮して会場を指定します。

内容：記述式テスト

〈地図・資料などの読解を中心にした記述式テスト〉問題の約2割は英語による出題で辞書の持ち込みは紙媒体のみ可能。解答時間は120分。

選考：成績優秀者を表彰し、金、銀、銅メダルを授与します。

成績優秀者の上位から選抜された者が第3次選抜試験に進むことができます。

テストの結果は、後日、個人宛てに郵送します。

■第3次選抜 2018年3月10日(土)～11日(日)

会場：近畿地方で実施予定。

内容：フィールドワークエクセサイズ

〈フィールドワークをもとにした筆記・作図などの試験〉問題の約2割は英語による出題で辞書の持ち込みは紙媒体のみ可能。当該の受験生には直接通知します。

選考：選抜試験の成績などを総合的に判断し4名を日本代表として、2018年8月上旬（予定）にケベック（カナダ）で開催予定の第15回国際地理オリンピックに派遣します。

問題について

過去の問題は、国際地理オリンピック日本委員会のホームページ (<http://japan-igeo.com/>) で閲覧することができます。

なお、2010年までは、第1次、第2次選抜の区別はなく、マルチメディアテストと記述式テストを同日に行っていました。

参加申込みについて

申込期間：2017年9月1日(金)～11月15日(水)

郵送は11月15日(水)必着、WEBエントリーは11月15日(水)23:59まで。

申込み方法：郵送またはWEBエントリー

参加申込書を郵送する方法と、申込み専用ページからWEBエントリーする方法があります。どちらの申込み方法でも、個人で申し込む「個人申込み」と学校ごとに団体で申し込む「学校申込み」が選べます。なお、応募にあたっては保護者の同意が必要です。WEBエントリーでは保護者同意欄にチェックを、郵送の場合は保護者の署名・捺印を、それぞれ忘れないようにお願いします。

「個人申込み」 申込み専用ページからWEBエントリーするか、本募集要項に添付された参加申込書に必要事項を記入して下記の郵送申込書送付先に郵送してください。

「学校申込み」 学校申込みには①学校で一括して申込み一般会場で受験する方法と、②自校で在校生だけで受験する方法があります。在籍する学校の担当の先生に相談してください。

〈担当する先生へのお願い〉

①の場合には、応募する生徒全員に本募集要項に同封された「申込書」の①個人（生徒）申込み欄に記入させ、担当する先生が「申込書」の②学校申込み（一般会場）欄に記入してください。応募する生徒の人数分の参加申込書と、先生が②に記入した参加申込書をまとめて、郵送申し込み送付先にお送りください。

②の場合には、担当する先生がWEB申込専用ホームページ（下記アドレス）にアクセスし、特例会場の設置条件を読み同意されたうえで、申請書をダウンロードして必要な項目に記入の上申請をしてください。実行委員会が協議して申請の可否を検討します。特例会場として認められた場合、①と同様に、応募する生徒全員に本募集要項に同封された「申込書」の①個人（生徒）申込み欄に記入させ、担当する先生が「申込書」の③学校申込み（特例会場）欄に記入してください。応募する生徒の人数分の参加申込書と先生が③に記入した参加申込書をまとめて、郵送申し込み送付先にお送りください。

大会参加費等について

大会参加費は無料です。

ただし、会場までの交通費等は参加者の負担となります。

国際地理オリンピックは大学のAO入試・推薦入試等の特別入試の対象です。

科学地理オリンピックで日本代表として選抜された者あるいは日本国内で行われる代表者選考等で一定の成績を収めた者を対象として、筑波大学・東北大学・駒澤大学では、特別入試の対象となっています。

WEB申込み専用ホームページ

<https://contest-kyotsu.com>

参加申込みに関するお問い合わせは

☞ 科学オリンピック共通事務局へ！

・TEL 042-646-6220
（平日12:00～13:00／17:00～19:00）
・E-mail info@contest-kyotsu.com

郵送申込書送付先

〒192-0081 東京都八王子市横山町10-2
八王子SIAビル8F
（株）教育ソフトウェア内
科学オリンピック共通事務局 宛て

個人情報の取り扱いについて

「科学地理オリンピック日本選手権兼国際地理オリンピック選抜大会」は、国際地理オリンピック日本委員会（以下、「主催者」という）が主催しています。ご提供いただく個人情報は、次のように取り扱います。参加申込みされる方およびその保護者は、以下の内容について同意した上で申し込んでください。

1. 個人情報の収集目的について

「科学地理オリンピック日本選手権兼国際地理オリンピック選抜大会」においては、参加申込みに際して提供された参加申込者本人およびその保護者に関する個人情報ならびに「科学地理オリンピック日本選手権兼国際地理オリンピック選抜大会」の各段階において記録・撮影される写真等は主催者に登録され、主催者が本事業の円滑な運営を遂行するために使用するとともに、本事業に関連する各種広報のために利用させていただきます。

2. 個人情報の第三者への提供・預託について

・ご提供いただいた個人情報は、「科学地理オリンピック日本選手権兼国

際地理オリンピック選抜大会」の実施運営のため、管理されます。提供することにあたっては、主催者は個人情報の適切な管理を実施いたします。・ご提供いただいた個人情報の一部を、参加申込者の受験される第1次選抜の会場に対して、第1次選抜当日の出欠確認のために必要な範囲内で一時的に提供し、使用後返却回収します。

3. 個人情報の業務委託について

主催者は「科学地理オリンピック日本選手権兼国際地理オリンピック選抜大会」の申込受付業務および受験業務の一部を株式会社教育ソフトウェアに業務委託しております。

4. 個人情報のご提供の任意性について

個人情報のご提供は任意ではありますが、必要な情報がご提供いただけない場合は、上記利用目的の遂行に支障が生じる可能性がありますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

5. 個人情報の管理者について

ご提供いただいた個人情報は以下の者が適正に管理いたします。国際地理オリンピック日本委員会実行委員会
実行委員長 井田 仁康
国際地理オリンピック日本委員会実行委員会
事務局長 秋本 弘章

6. 個人情報に関するお問い合わせについて

ご提供いただいた個人情報に関して、開示、および開示の結果、当該情報が誤っている場合に訂正または削除のお申し出をいただいた場合には、速やかに対応させていただきますので、下記までご連絡ください。

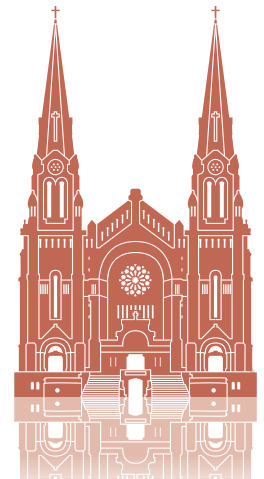
〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16
学会センタービル
公益社団法人 日本地理学会 事務局 気付
国際地理オリンピック日本委員会実行委員会 事務局
E-mail: geolympiad@ajg.or.jp



第15回 国際地理オリンピック Quebec Canada 2018

会期 2018年8月上旬(予定)

会場 ケベック(カナダ)およびその周辺



地理オリンピックガールズトーク

Girl's Talk

「地理オリンピック」って男だらけ? そんなことないです。世界では女子が活躍しています。強化研修会で再会した2014年クラコフ大会に出場した金田懐子さんと引率教員の井上明日香先生そして、国際地理オリンピック日本委員会実行委員会事務局長の滝沢由美子先生。女子が語る国際地理オリンピック世界大会。

金田 懐子さん K (東京都立武蔵高等学校出身 東京大学教養学部 2014年クラコフ大会出場)

井上 明日香さん I (国際地理オリンピック日本委員会実行委員、神奈川県立川崎高校教諭 2014年クラコフ大会引率教員)

滝沢 由美子さん T (国際地理オリンピック日本委員会事務局長、元帝京大学教授)

I: 金田さん久しぶり。大学はどう。

K: 先生、お久しぶりです。楽しんでますよ。東欧の言語や文化に興味をもって勉強しています。

I: それは、クラコフに行ったことと関係ある?

K: もちろん。地理オリンピックに参加して刺激されたことが影響しています。地理オリンピックではいわゆる試験だけでなく、交流プログラムも充実していました。

T: 女子の参加者は多いのかしら?

K: 実は、世界大会では女子の参加者は多いのです。日本で予選を受けたときは男子がはるかに多かったけど…。テストの結果は知りませんが国際交流は、実は女子が得意ですね。どこの国でも女子のほうがパワーあるみたい(笑)。おかげさまで世界中に友人ができました。

I: リーダーも女性が多いですし、女子が少ないという意識はないですね。実際数は男子がやや多いですが…。本当に女性はどこでも強いですね(笑)。今でも印象に残っていることはありますか?

K: 自転車で国境を超えたことが印象に残っています。人も言葉も文化もつながっているという実感を持ってました。

T: ところで、どうして地理オリンピックを受けたの?

K: 高校の地理の先生の勧めです。クラコフで世界大会があるのだけれど受けてみないって。行ってみたいところだったし。でもまさか代表になって実際に行くことができるとは思ってなかった。他の科学オリンピック、たとえば数学や物理などはどこでやってもあまり関係ないですよね。でも地理はどこでやるかって重要だと思います。

T: では、地元の学生が有利なの?

K: そんなことないです。開催国の全選手は4名だけだし、地理的なことを知っているかより、観察力、地図読解力や作成力そして分析力が必要な問題がほとんどですから。地理は様々な分野があるので、自分の興味のある分野から勉強するのも悪くないと思います。

I・T: そうですね。



テストの様子（京都大会より）



記述式テスト



国際大会では英語で解答します



フィールドワークエクササイズ



現地での景観観察



観察事項をまとめる



現地での課題説明

ここでは科学地理オリンピックの国内選抜試験で出題された問題をご紹介します

マルチメディアテスト (MMT)

第1次選抜試験 問題例

次の写真はある世界遺産で撮影されたものである。撮影された場所はどこか。

- ① $42^{\circ}53'N$ $8^{\circ}32'E$
- ② $43^{\circ}20'N$ $17^{\circ}48'E$
- ③ $43^{\circ}18'N$ $68^{\circ}16'E$
- ④ $40^{\circ}28'N$ $140^{\circ}07'E$



解答のポイント

写真の建造物からイスラームの分布地域であることがわかる。気候的には乾燥もしくは半乾燥であることが推測される。そのうえで、選択肢を見ると、緯度はほぼ同じ、経度が異なっている。本初子午線はロンドン、日本の標準時子午線が東経135度程度の知識があれば、③が中央アジアであることは容易に推測が付く。なお、写真はカザフスタンの世界遺産ホージャ・アフマド・ヤサヴィー廟。

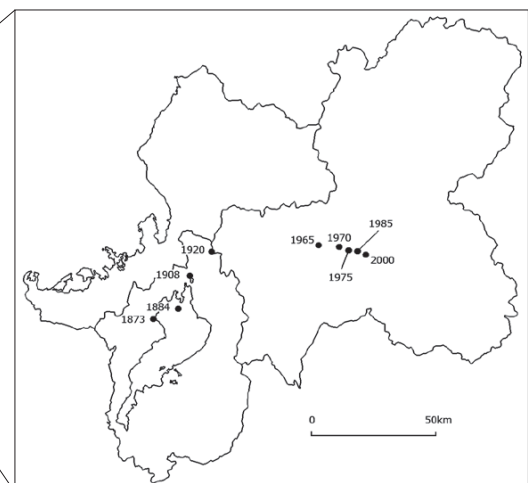
記述式テスト (WRT)

第2次選抜試験 問題例

人口重心とは、ある地域を平板とみなし、その地域の居住者の体重がすべて等しいと仮定したとき、その地域を支えることができる支点の位置をいう。日本の人口重心に関する次の各問いに答えなさい。

- ① 図1で示すように、日本の人口重心は1873（明治5）年時点で滋賀県の琵琶湖西岸に位置していた。その後1920（大正9）年までに人口重心が移動した理由を説明しなさい。
- ② 1965（昭和40）年以降の移動について、その理由を説明しなさい。

図1



（岐阜県公式HP及び総務省統計局のHPより作成）

解答のポイント

右の図で、移動方向を捉え、その理由は日本全体で考える。

- ① 明治末期の北海道開拓の影響によるもの。
- ② 東京圏への一極集中の動きを反映している。



2016年8月に中国で行われました

第13回

国際地理オリンピック iGeo Beijing 2016

代表生徒・引率教員レポート

世界大会はテストだけではなくありません。ポスターセッションや文化交流・エクスカーションなど多彩なプログラムが用意されています。優秀賞を獲得したポスターを中心に紹介します。

POSTER
SESSION

地理オリンピックにおいて最も重要なのはメダルを競う3種のテストです。しかし、地理オリンピックにおいては、日本はもちろん、世界中から集まった一流の選手や先生方との交流も非常に重要な要素です。

今回の大会で、日本選手団は、メダル獲得はもちろん、文化交流面でも大成功を収めました。文化発表の演劇では各国の注目を集め、ポスターでは1～4位に与えられる優秀賞をいただきました。賞を頂いた時の喜びは忘れられません。各国選手と交わした会話も素晴らしい思い出です。北京大会は、自分にとって最高の大会でした。

日本代表生徒：佐藤 剛 筑波大学附属高等学校3年

地理オリのテストはすごく面白い！2016年大会では、北京市内の交差点に立ち、バスや自転車の通過台数を測定しました。紙の上にとどまらず、街に出て行って自ら情報を探す。それが他の科学五輪にはない、地理オリの醍醐味です。

テストだけじゃない。Cultural Session (文化交流) では各国の伝統文化を「五感で」体験できます。Excursion (巡検) では故宮や万里の長城を訪れ、海外選手と交流を深めました。皆で宿舍のロビーに集まり、将来の夢を語り合った夜も忘れられません。地理オリへの参加はまさに、あなたの世界観を広げる第一歩です。

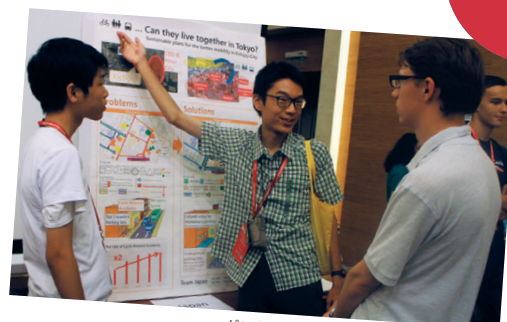
日本代表生徒：松藤 圭亮 福岡県立修猷館高等学校3年



フィールドワークエクササイズ前夜のミーティング



エクスカーションで他国代表と交流



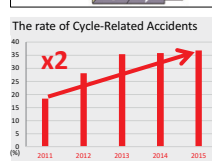
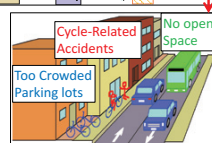
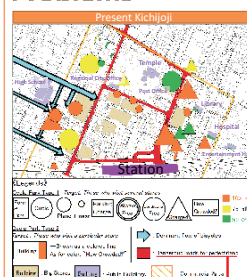
ポスターセッションで説明する代表選手

... Can they live together in Tokyo?

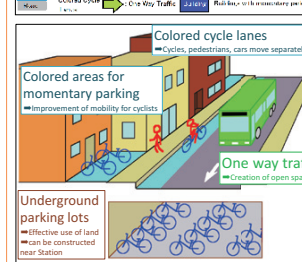
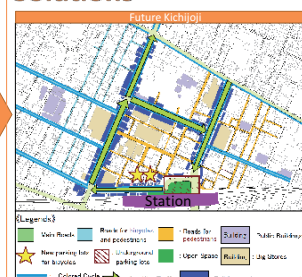
Sustainable plans for the better mobility in Kichijoji City



Problems



Solutions



Team Japan

Kei Aoki
Go Sato
Keisuke Matsufuji
Keisuke Otsuru

北京大会日本代表4名は、「吉祥寺の自転車駐車場問題とその解決策」をテーマにポスターを作成し、大会にてプレゼンテーションを行いました。その結果、優秀賞(参加45か国・地域中上位4位に授与される)に見事輝きました。主題図、模式図、グラフを用いて視覚的に見やすいポスターになったことに加え、問題の解決策を、地域性を踏まえ具体的に提案したことが高評価につながったものと考えます。

日本代表チームリーダー：泉 貴久